

2023年9月29日

(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所  
関西熱化学(株) 加古川工場

## 降下ばいじん 加古川製鉄所 自主管理目標値未達成の原因と対策について

加古川製鉄所では、2008年4月から粉じん対策の効果を確認するため、降下ばいじんに関して製鉄所影響値 3.0t/km<sup>2</sup>/月以下（対象測定地点：加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校の3箇所）の自主管理目標値を設定し、その達成に注力してまいりました。しかしながら、加古川製鉄所における降下ばいじん製鉄所影響値<sup>\*1</sup>に係る自主管理目標値が本年7月に未達成となり、地域の皆様に大変ご心配をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

この度、目標値未達成の原因と対策について取りまとめましたので、以下の通り報告いたします。

### 1. 目標値未達成の原因について

今回の未達成の主原因は、製鋼工場のベルトコンベアからの発じんと特定しました。

ベルトコンベアには集じん機を設置して発じん抑制を図っていましたが、鉄源リサイクル量を増やすために原料の変更を行った際に、発じんしやすい細かい粒子の割合が増加し、集じん能力が不足したため、集じんダクト内部の閉塞が進み発じんしました。なお、当該設備については、既報の通り7月中旬までに集じんダクト内のダスト除去等の是正措置を行い、通常の状態に戻しています。

### 2. 対策について

- 1) 応急対策：集じんダクト内のダスト除去（実施済み）。また、集じん風速を日々測定し異常があった場合、設備を停止しダストを除去します。
- 2) 恒久対策：当該設備の集じん風量を増加させるための集じん系統の見直し工事を実施します（2023年11月完工予定）。
- 3) 管理面の対策：原料の変更をする際は、テストを実施し集じんダクトに堆積しないか、集じん風量が低下しないかを確認した上で変更します。

### <(株)神戸製鋼所 加古川製鉄所長 中村 昭二 コメント>

この度、自主管理目標値未達成の原因を特定し対策を策定いたしました。降下ばいじん対策は、製鉄所の重要課題の一つと位置づけており、設備的・管理的対策の実行により、安定して目標値を達成するよう注力いたします。

### <関西熱化学(株) 加古川工場長 稲益 裕修 コメント>

引き続き、社員一同降下ばいじん対策に努め、安定して目標達成できる様に取り組んでまいります。

以上

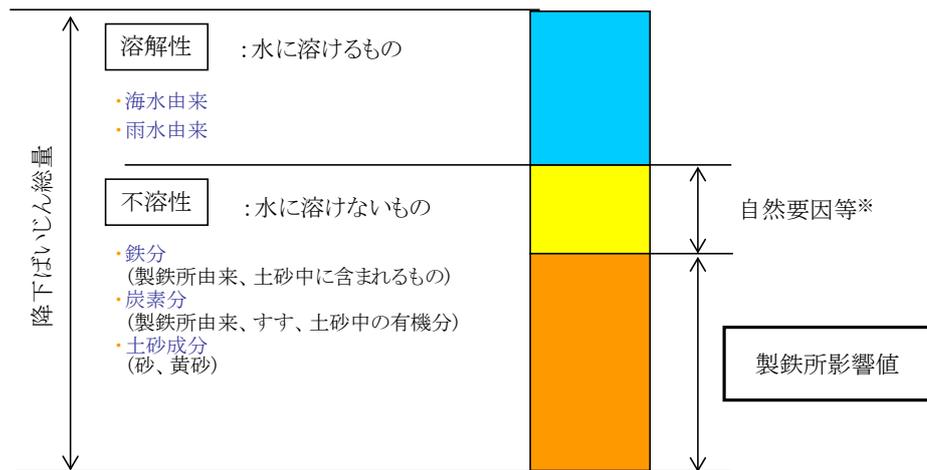
参考

<降下ばいじん 製鉄所影響値<sup>※1</sup> (加古川市測定) >

測定地点	単位	3月	4月	5月	6月	7月
加古川神鋼ビル	t/km <sup>2</sup> /月	1.02	1.77	2.22	2.51	<b>3.25</b>
別府小学校	〃	1.09	0.60	1.49	2.90	2.72
尾上小学校	〃	0.46	1.82	1.03	1.36	0.68

※1製鉄所影響値

粉じんの管理を強化するため、製鉄所近隣で加古川市が測定している3ヶ所（加古川神鋼ビル、別府小学校、尾上小学校）の降下ばいじん量について、製鉄所影響値を3.0t/km<sup>2</sup>/月以下とする自主管理目標値を定め、'08年4月から運用しております。製鉄所影響値の算出の考え方を図1に示します。運用開始前の10年間における製鉄所影響値の最大値は6.6t/km<sup>2</sup>/月であり、それを半減以下にするという目標です。



※ 自然要因等:環境監視センター、山手中学校、東神吉小学校、志方公民館、平荘小学校の不溶性降下ばいじん量の平均値。

図1. 目標値を設定する降下ばいじんの対象